



ものづくり広報

平成29年度 「選択講座研修」受講者を募集します

対象 現場のリーダークラスを対象にした研修です。

とき **安全**：9月6日、9月20日 **品質**：9月27日、10月4日、10月11日、10月18日 **生産**：11月1日、11月8日 **製造**：11月15日、12月6日、12月13日、12月20日

※同じ内容を水曜日に2回/日実施します。

※午前：9時30分～11時30分 午後：13時30分～15時30分

ところ ものづくり産業支援センター会議室（市役所別館第3 2階）

定員 各講座10人（先着順）

内容 職場の不安全箇所と不安全作業をなくそう、品質を守る仕組みと改善の進め方、再発防止の取組み、長時間労働が続く毎日の中を乗り切るために、突発受注品の対応方法、人の環/連携プレイのとり方、工程で品質をつくりこむ、不良を出さない仕掛け、再発防止の確実なやり方など、希望の内容の講座のみを自由に受講できます。

申込み 産業政策課ものづくり産業支援センターへ

平成29年度 マネジメント研修受講者を募集します

対象 市内中小製造企業の管理職の方（全4回の研修に参加できる方）

とき 10月20日（金）、27日（金）、11月1日（水）、7日（火）9時～16時30分（最終日は15時まで）

ところ ものづくり産業支援センター会議室（市役所別館第3 2階）

定員 8人（先着順） **参加料** 無料

内容 日常管理（トラブルの未然防止）と方針管理（重点目標の設定、主要施策の立案）のノウハウの習得、グループ活動、他企業訪問、みえリーディング産業展2017見学 など

申込み 9月29日（金）までに、産業政策課ものづくり産業支援センターへ



▲昨年のマネジメント研修の様子

平成29年度「鈴鹿市ものづくり企業交流会」を開催します

市では、市内中小製造企業が有する優れた技術や製品について展示PRすることで、企業同士の交流や親睦を深め、併せてマッチングの機会を創出することを目的に、「鈴鹿市ものづくり企業交流会」を開催します。8回目を迎える今回は、鈴鹿ハンターを会場とすることで、企業関係者だけでなく、広く市民の皆様にもPRを図ります。

日時 平成30年1月21日（日） 10時～16時

ところ 鈴鹿ハンターショッピングセンター1階センターコート、サブコート、2階特設大催事場

主な内容 ○**企業展示会** 自社の「強み」を広く発信することで、鈴鹿のものづくりの「魅力」をアピールします。30社募集予定



▲過去の企業展示会の様子

○**第5回すずか輪ゴムグランプリ** 輪ゴムのみの動力を利用した自作の車により走行距離を競うことで、自社の技術や開発力をPRし、参加企業同士の交流や親睦を深めます。また、今回は鈴鹿少年少女発明クラブで活動する小学生が、1年間の活動の集大成として自作の車を持ち寄り輪ゴムグランプリに参加します。市内の製造企業の展示や輪ゴムグランプリにおける技術者の技術力を見ることで、将来のものづくり人材の育成にもつなげます。

支援活動事例紹介：図面の見方に関する指導支援

「図面を読むことができる人材を増やしたい」というニーズが高まってきました

昨年「機械製図が読めるように基礎教育して欲しい」という支援申請がものづくり産業支援センターに届くようになりました。製造現場では多機種少量化時代がより強まってきており、社長や工場長など1、2人だけが図面を読めてものづくりをすることは限界に近い状態となっています。図面を読める人材を増やしていかなければ今後の多機種少量化傾向に対処できないため図面を読める人材を増やしたいというのが支援申請の主な背景として考えられます。

支援内容

センターでは、専門アドバイザーの現役時代の設計、製造経験等を生かして図面の読み方を指導しています。指導方法は、「機械製図」の基礎について、鈴鹿高专、工業高校で使用している教科書を活用して製図の基礎知識を講義しながら、現役時代の図面に関係する多くの体験を折り混ぜて、より実践活用できるように努めています。

企業様からの声

- 以前は作業者が先輩から教えてもらいながら受け身で加工作業をしていましたが、自分でものづくりをする姿勢に変わってきました。
- 基礎を知ったことで、さらに図面からいろいろなことを読み取るため、事前にQCDレベル向上を図ろうとする姿勢が出てきました。



▲支援で活用するテキスト



フォーカス ものづくり

企業の人・もの・技術・地域とのつながりを紹介

三田工業株式会社

住所：鈴鹿市安塚町字源平塚1350-15
TEL：059-383-4517
FAX：059-382-4149
(金属製品製造等)

<IoTを活用したスマート板金工場> ※IoTとはInternet of Things(モノのインターネット)

建設業向け金属製品(防火扉・象舎等多種多様)を製造している当社では、通信機能を有するベンディングマシン(金属板の折り曲げ)や3Dレーザーマシン(立体的部材のレーザー加工)などの工作機械を3DCADと接続されたデータサーバで制御しています。

3DCADを使える人材の育成および3Dレーザーマシンを導入することになり、これらと既存のベンディングマシンも合理的に使うためにデータサーバとの接続を行いました。

建築部材製作業界では3DCADをあまり利用しないため不安を感じましたが、設計スタッフは粘り強くトレーニングし、3DCADの使用スキルを習得しました。各種マシンが接続することで合理的な使用が可能となり、個々のマシンを動かしていたときのようなミスがなくなりました。また、蓄積される製作データを検索することで、顧客の問い合わせにスムーズな対応ができるようになり、併せて設計と製造の仕事が一部オーバーラップすることで、業務に一体感ができました。時代を鋭く先読みする力が、生産性の向上に大きく寄与していることが理解できました。

3DCAD



データサーバ



3DCAM



ブランクマシン



通信機能を有するベンディングマシン



3Dレーザーマシン